

# DOYU

あおり

2026 Feb.

2

vol.295

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F  
TEL/017(752)0171 FAX/017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

## 津軽支部 11 月例会

### 同友会で気づいた事

◆報告者◆

(有)たんぽぽ運送 (津軽支部)

代表取締役 稲葉 晃 氏

(2025/11/22 参加 24 名)

#### ★★★ 感想文 ★★★

今回、稲葉社長より、赤字で融資も断られていた状況から、10 年で地域に欠かせない企業へと成長された道のりを共有いただきました。

グループ討論では大きく 2 つの話題で討論が進み、まず「相手目線に立つ」というお話から、家族や従業員の意見を素直に受け入れられていないかもしれない、頭の中で思っていることは言葉にしなければ伝わらないという気づきが共有されました。次に、目標に対しての取り組み内容・担当・会社の損益状況など、10 年後までを具体的に思い描き、安心できる状態になっていない、目標を数字や行動計画として落とし込む重要性を改めて感じたとの声が上がりました。

今回の学びを通して、自社の売上だけを考えるのではなく、まずは目の前にいる人の目線に立ち、会社が誰に何の価値を提供できるのかを考え、まずは小さな範囲でいいからトップを目指し、一歩ずつ行動していきたいと思いました。

記/ (株)ApriFLEUR 代表取締役 石郷岡 舞 氏

▼12/15 青森支部忘年例会 参加 50 名



## 青森支部 11 月例会

### ちよつとずつ、ちよつとずつ。

～気づきの「きっかけ」づくりが私の役目～

◆報告者◆

(株)タカハシ空調 (青森支部)

代表取締役 松坂 剛 氏

(2025/11/28 参加 24 名)

#### ★★★ 感想文 ★★★

私は元々、人付き合いや仲間作りは苦手な方なので参加を躊躇っていたのですが、このままではいけないと感じていた部分もあったので、参加を試みました。色々な意見を聞き、話すことで自分では考えてもいない事や、発想や、思考が見られ視野が広がり、非常に勉強と経験になりました。特に今回の例会の意見の中で、自分自身が変わるためには、「人は素直でなければならない」「人の話を受け入れる自分である事」「見返りを求めず向き合う事」この言葉に感銘を受けました。当たり前のような事なのだけれども、自分の成長や人との関係性、更には会社経営にも繋がっていると感じます。私自身、まだまだ未熟であり経験不足な部分が多々ありますので、例会等を通じて勉強していきたいと思います。皆様、今後ともよろしくお願い致します。

記/ (株)青森機械 常務取締役 川田 一誠 氏

▼1/16 八戸支部例会 参加 16 名





# 社員共育委員会研修事業

## 3S 企業見学会

～3S の取組みが  
どの様な成果に繋がったのか～

◆見学企業◆

(株)菓子卸センター坂下商店(八戸支部)

(2025/12/11 参加 18名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

坂下商店さんの3S企業見学に参加し、お菓子の卸業ならではの工夫と、現場を大切にする姿勢を強く感じた。倉庫内には多くの段ボールが保管されていたが、棚番や棚札によってお菓子一つ一つに「住所」が決められており、誰でも迷わず商品を探せる仕組みが整っていた。新たに設けられた会議室や、商談しやすい商品をまとめた部屋、お歳暮など季節商品を見やすく紹介できる専用スペースもあり、3Sの徹底が業務効率の向上につながっていると感じた。特に印象的だったのは、社員さんが主体となって3S活動に取り組んでいる点です。見学の最後には、社員さんが考えたサンタクロースに扮したお菓子屋さんならではのサプライズがあり、参加者全員がお菓子を頂いた。細やかな心配りから社員さんの人柄を感じました。坂下商店さんの取り組みを自社でもぜひ参考にしながら3Sに取り組んでいきたいと思った。

記/(株)想い工房 専務取締役 吉田 亮子 氏

## 津軽部会大望年会

◆報告者◆

佐藤食品(株) ((一社)秋田同友会)

代表取締役社長 佐藤 賢一 氏

(2025/12/13 参加 21名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

佐藤さんの報告は、代々受け継がれる老舗佃煮屋の伝統を継承する覚悟と、変化を恐れず挑戦し続けるエピソードでした。2008年の入社当初、父との衝突や旧態依然とした組織、平均年齢58歳という現実「何のために帰ってきたのか」と葛藤し、後継者ならではの苦悩として胸に迫ります。佐藤氏自身が深く悩み、「社長としての答え」を模索していた時期を経て、火災という大きな困難をも社員と共に乗り越え、「道徳心を養う会社」を目指す姿は私も見習うべき経営者としての姿勢と感じました。

自社に活かしたいのは、事業の本質を「佃煮屋」では

なく「食材を活かす食品製造業」と再定義し、視野を広げることで新たな価値を創造した点です。一見衰退産業と思われる業界でも、視点を変え、社員全員で新商品開発に取り組むことで、唯一無二の商品が生まれます。私も佐藤氏のように、全社員で感動を共有し、心の和を持って新しい価値を創造できる組織作りを目指したいと思いました。

記/(株)エーアイサイン 専務取締役 石澤 安弥人 氏

## 上十三支部望年会

(2025/12/18 参加 15名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

例会には多数の参加があり、大いに盛り上がりました。日頃はゆっくりとお話する機会が少ない他会員の方々とも、業務の枠を超えて親睦を深めることができ、非常に有意義な時間となりました。

美味しいお料理を囲みながら、皆様の意外な一面や仕事に対する熱い想いを伺うことができ、私自身大きな刺激を受けました。今回養った英気を糧に、残り少ない本年も全力で取り組み、より良い形で新年を迎えられるよう邁進したいです。

最後になりますが、お忙しい中、事前の準備から当日の運営まで尽力いただいた幹事の皆様に心より感謝申し上げます。

記/Chariot Global Office 代表 長田 勇介 氏

1 月理事会報告 於:事務局 2026.1.13(火)

1)年度方針の確認

●青森同友会2025 年度重点活動方針

●青森同友会3カ年ビジョン(2023～2025)

2)報告事項

●青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について

①各支部の動き

②全県の動き

③全国・ブロック行事の動き(2025 年度)

④中同協幹事会(2023.10.26)より

⑤東北ブロック内での会勢・組織率比較

●経営指針を創る会について

●3ヶ月先行管理の進捗状況について

3)審議・確認事項

●2026 新春例会 in 八戸に向けて

●第23 回障全交全体反省会と慰労会について

●2026 中小企業サミット参加募集について

●中期ビジョン及び26 年度重点方針について

●2025 年度会勢目標について

●各支部、委員会からの報告

会員数 420 名/入会 2 社 退会 1 社

【次回開催日】2026 年 2 月 3 日(火) 13:30～/事務局